

平成31年4月教育委員会定例会会議録

平成31年4月17日 開催

静岡市教育委員会

平成31年4月静岡市教育委員会定例会次第

1 日時

平成31年4月17日（水） 午後2時

2 場所

静岡市役所 清水庁舎 3階 第1会議室

3 日程

(1) 開会

(2) 会議録署名人の指定

(3) 教育長の報告

(4) 議案

議案第1号 静岡市中学校部活動指導員設置規則を廃止する規則の制定について

(5) 報告

報告第1号 委員の解任及び任命について（静岡市スポーツ推進審議会委員）

報告第2号 委員の解職及び解任並びに委嘱及び任命について（静岡市社会教育委員）

(6) 閉会

平成 31 年 4 月教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成 31 年 4 月 17 日 (水) 午後 2 時 開会
- 2 場 所 静岡市役所 清水庁舎 3 階 第 1 会議室
- 3 出席者 教育委員 教育長 池谷 眞樹 委 員 佐野 嘉則
委 員 橋本ひろ子 委 員 杉山 節雄
委 員 松村 龍夫 委 員 川村 美智

教育委員会事務局	
教育局長	遠藤 正方
教育統括監	望月 敬剛
教育局次長	甲 猛志
教育局理事 (教育政策担当)	加納 弘敏
(教育総務課長事務取扱)	
教育総務課教育力向上政策担当課長	西島 弘道
教職員課長	南 雅司
教職員課厚生・給与担当課長兼給与係長	小長井健司
参与兼教育施設課	村上 徹真
学校教育課長	櫻井 守
学校教育課特別支援教育センター担当課長	渡邊 俊夫
児童生徒支援課	栗田 保孝
学校給食課長	坂井 義則
教育センター所長	岡島 均
中央図書館長	市川 智章
参与兼生涯学習推進課長	秋山 健
参与兼文化財課長	岡村 涉
スポーツ振興課長	長澤 秀紀
青少年育成課長	金丸 貴之
教育総務課課長補佐兼総務係長	海野 祥吾
教育総務課主査	澤野 倫世

4 日 程

(1) 開会

池谷教育長 ただいまから平成31年4月教育委員会定例会を開会いたします。

(2) 会議録署名人の指定

池谷教育長 本日の会議録署名人を杉山委員に指定

(3) 教育長の報告

池谷教育長 資料「4月定例会 教育長報告」により報告

(4) 議事

池谷教育長 それでは、議事に入ります。お手元の資料、会議の流れをごらんください。本日は、議案1件の審議を予定しています。また報告が2件あります。いずれも公開案件で行います。

<議案第1号 静岡市中学校部活動指導員設置規則を廃止する規則の制定について>

学校教育課長 議案説明

池谷教育長 この件につきまして、御意見・御質問等がありましたらお願いします。

各 委 員 質問・意見なし

池谷教育長 それでは、この件については、原案どおり承認ということでよろしいでしょうか。

各 委 員 異議なし

池谷教育長 それでは、原案どおり承認といたします。

(5) 報告

<報告第1号 委員の解任及び任命について（静岡市スポーツ推進審議会委員）>

スポーツ振興課長 資料に基づき報告

池谷教育長 この件につきまして、何か御質問等ありましたらお願いします。

各 委 員 質問・意見なし

池谷教育長 それでは、この件については、以上といたします。

<報告第2号 委員の解職及び解任並びに委嘱及び任命について（静岡市社会教育委員）>

教育総務課長 資料に基づき報告

池谷教育長 この件につきまして、何か御質問等ありましたらお願いします。

各 委 員 質問・意見なし

池谷教育長 それでは、この件については、以上といたします。

(6) 閉会

池谷教育長 以上で、平成31年4月教育委員会定例会を閉会します。

午後2時28分

○ 教育委員の任期満了にあたってのあいさつ（橋本ひろ子委員）

池谷教育長 橋本ひろ子委員におかれましては、この4月23日をもって教育委員としての任期を満了されます。従って、本日が、教育委員会会議に出席される最後の機会となりますので、ここでご紹介させていただきたいと思います。

橋本委員におかれましては、平成27年4月24日にご就任いただきから、4年間、教育委員をお務めいただきました。校長経験者であり、PTAの関係のお仕事をされているということもあり、本当に学校と教育委員会との連携、つなぎ役という面でも活躍していただきました。橋本委員のお人柄に、指導主事をはじめ事務局職員から頼られることも多かったと思いますが、常に寄り添い、温かいお言葉をかけていただきました。

この平成27年につきましては、ちょうど静岡市では第二次教育振興基本計画が動き出してきた年であり、新学習指導要領も見えてきて、いろいろな面で教育行政が動いてきた年でありました。そして教育振興基本計画から静岡型小中一貫教育のスタートが決まってきたり、あるいは新教育委員会制度により総合教育会議が始まったことによって、現場の教員の悲願であった校務支援システムの導入が決定されました。そんな動きの激しい中で、様々な面での改革についても、教育委員として非常に適切なお意見をいただきました。教科書採択については今年度も実施していきますが、平成27年以降、毎回橋本委員には特に力を発揮していただいたなということも、すごく記憶の中にあります。

また、会議以外の場でも先ほども申し上げましたが、お人柄からいろいろな方とのお付き合いがあり、私も時々誘っていただいたりしましたが、人間関係を広げることができたことも感謝しています。お忙しい中でも常に教育委員会のこと、事務局や学校で働く職員のことを常に気にかけていただき、本当にありがとうございました。

この度、今月23日をもってご退任となりますが、今後も教育委員会や学校について、ご指導ご助言いただければと思います。今日のこの機会に、静岡市の教育に対する思いを、私たち教育委員はもとより出席者に向けて、改めてお話していただきたいと思います。

橋本委員 過分なお言葉をいただきまして、体が消え入りそうです。ありがとうございました。晴れて卒業の時を迎えさせていただきます。

ただいま教育長様からご紹介いただいたように、振り返ってみますとこの四年間は、本当に静岡市の教育が大きく変化と言いますか、進化するステップを踏むような四年間で、いろんな場面に立ち合わせていただいたなと思っております。その一つが静岡型小中一貫教育でした。スタート当初は、いろいろな考え方やご意見、また戸惑いも含め

て暗中模索のような、そんな船出だったような気がしますけれども、この四年経ってみますと理念や方向性が概ね定着し、浸透し、九年間を見通した教育ということで、各学校の教育がとても充実しているなど感じているところです。そして先般は、その屋台骨を担う静岡学の立派なテキストができましたよね。あれも素晴らしい成果だったな、制作の過程を見せていただけてよかったなと思っております。

また、もう片翼を担う英語力の向上につきましても、ただいまGET先生がいろんな地域で子どもたちと一緒に活動してくださっていて、子どもたちの中で英語に親しむ環境が広がっているなど感じているところでございます。

もう一つ忘れてならないのは、部活動ガイドラインの策定ですね。あのガイドラインこそ、本当に、多方面から逆風なのか嵐なのかというご意見をいただき、錐揉み状態の中でも、私たちの合言葉は「不退転」「やるしかない」でしたよね。それで力強く進めていただいて、今大きな実を結んでいるのかなと思います。その陰には何と言っても杉山委員の大きな後押しの部活動応援隊があったからだなと思っております。爆発力というかパワー、機動力のある杉山委員をはじめ、個性も大変豊かで、人間的にも素晴らしい教育委員の皆様と同じ時を過ごさせていただいたということは、私にとって本当に大きな財産だったなと思っております。本心ですよ。これから私はこの場を離れますけれども、ここでの経験を活かしていこうと思っております。

考えてみますと、私は大学を出てそのまま教員になり、38年間ずっと職員室で過ごしてきました。そして退職して間を空けずに教育委員という職に就かせていただいたので、教員以外の世界を知らずにここで意見を言わせていただいたので、もしかしたら、本当に学校に偏った意見ばかりしか述べられなかったのかなという気もいたしますが、そんな意見も大事に尊重してくださって、議論していただけたということは、本当に幸せだったなと思っております。ありがとうございました。

最後にもう一つですが、事務局の皆さんの献身的な努力と高い見識は本当に素晴らしい、敬意を表したいなと思っております。皆さんは本当に静岡市の子どもたちにとって、とても大事な存在だと思っています。ですから、どうかお願いします。働き方改革を自ら進めていただいて、学校現場からも市長部局の行政の方からも、教育委員会はやりがいがあるって働きやすい職場だからあそこに異動したいよって、皆さんから言ってもらえるような職場環境にさせていただき、そんな環境の中で、ぜひ静岡市の子どもを見守っていただきたいなと思っております。

皆さまお体に気を付けて、これからも頑張ってください。ありがとうございました。

池谷教育長

ありがとうございました。

ただいまの、橋本委員の思いをしっかりと受け止め、今後の静岡市の教育をよりよいものにしていくため、力を尽くしていきたいと思えます。